

(様式第4号)

上田市 健康づくり推進協議会 会議概要

1 審議会名	上田市健康づくり推進協議会
2 日時	令和6年1月22日(月) 午後1時30分から午後3時00分まで
3 会場	ひとまちげんき・健康プラザうえだ 2階 多目的ホール
4 出席者	宮下会長、滝沢(陽)副会長、今村委員、小林委員、関委員、滝沢(清)委員、滝沢(詳)委員、竹内委員、田中(由)委員、中村委員、野口委員、渡邊委員
5 市側出席者	室賀健康こども未来部長、町田健康推進課長、井澤健康推進課健康政策担当係長、戸谷健康推進課保健予防担当係長、片田健康推進課母子・精神保健担当係長、宮島健康推進課丸子地域健康支援担当係長、滝澤健康推進課真田地域健康支援担当係長、中沢健康推進課武石地域健康支援担当係長、健康推進課丸子地域健康支援担当宮沢主査、健康推進課小林主査、健康推進課豊田主査、健康推進課笹井主査、健康推進課中村管理栄養士
6 公開・非公開	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 ・ <input type="checkbox"/> 一部公開 ・ <input type="checkbox"/> 非公開
7 傍聴者	2人 記者 0人
8 会議概要作成年月日	令和6年1月25日

協 議 事 項 等

1. 開 会 (事務局)
2. あいさつ (室賀健康こども未来部長)
3. 報告事項
  - ・ 市民意見募集手続 (パブリックコメント) の結果について事務局から、第四次上田市民健康づくり計画 (案) 及び第3次上田市食育推進計画 (案) の市民意見募集手続の結果について報告
  
- ア. 1 計画等の案の名称 第四次上田市民健康づくり計画 (案)
  - 2 募集期間 令和5年11月28日 (火曜日) から令和6年1月4日 (木曜日) まで
  - 3 実施結果
    - (1) 件数 7件 (4人)
    - (2) 提出方法 持参1件 (1人)、郵便0件 (0人)、電子メール6件 (3人)、ファクシミリ0件 (0人)、計7件 (4人)
    - (3) 意見の区分
      - (ア) 計画案に反映する意見 0件
      - (イ) 計画案と趣旨同一の意見 2件
      - (ウ) 参考、検討とする意見 1件
      - (エ) その他 4件
  
- イ. 1 計画等の案の名称 第3次上田市食育推進計画 (案)
  - 2 募集期間 令和5年11月28日 (火曜日) から令和6年1月4日 (木曜日) まで
  - 3 実施結果
    - (1) 件数 5件 (3人)

(2) 提出方法 持参0件(0人)、郵便0件(0人)、電子メール5件(3人)、  
ファクシミリ0件(0人)、  
計5件(3人)

(3) 意見の区分

- (ア) 計画案に反映する意見 0件
- (イ) 計画案と趣旨同一の意見 3件
- (ウ) 参考、検討とする意見 0件
- (エ) その他 2件

#### 4. 協議事項

・「第四次上田市民健康づくり計画(案)」「第3次上田市食育推進計画(案)」の答申について事務局から、「第四次上田市民健康づくり計画(案)」「第3次上田市食育推進計画(案)」の答申について説明

以降、質疑応答

(委員) 食育推進計画の重点課題の中に、フレイル予防についての記載があるが、オーラルフレイル予防を追記していただきたい。

(会長) 脚注の中にもオーラルフレイルについての説明がある。この脚注はどの部分を参照しているのか。

(事務局) 「市民の健康状況」の「噛むことについて」の中に、「生涯を通じて健康な食生活を送るためには、口腔機能が十分に発達し、維持されるとともにオーラルフレイル予防も重要になります。」と記載している。

(委員) 高齢者の低栄養については、口腔機能の低下の影響も大きい。オーラルフレイルという言葉を入れることで、問題を周知できると思う。

(事務局) 「オーラルフレイルを含めたフレイル予防」として、追記したい。

(会長) (追記内容を含め)事務局案を承認いただける方は拍手をお願いしたい。

(委員) [拍手多数。]

(会長) 事務局案を承認していただいたので、答申としたい。

(会長) 今回が最後の協議会になる。委員の皆様から全体を通しての感想をお願いしたい。

(委員) 4月から国の健康日本21の第三次計画が始まるが、重要な点として「実行性のある推進」が挙げられている。計画は立てた後が重要で、詳細な計画を立てていただいたので、実行性ある形で推進して、行政中心にこの計画を意味のあるものにしていくことが重要と考える。今後に期待したい。

(委員) 過去、第一次計画を策定したときも国や県のひな型を参考に作成したと思うが、大変な事であったと思う。計画は作成しても、誰が読んでいるのか、実際には受け入れられていない状況があり、歯がゆい思いがある。若い世代に知ってもらうためにも、どのようにアナウンスしていくかが重要だと思う。

(委員) 計画を実行していくことで市民の健康が改善されていくことを期待する。特に、子供たちの健康づくりのために何が必要か、教育をしていくことが重要だと思う。この計画案をもとに、子供

たちの将来のために実行してほしい。

(委員) 特定健診の受診率が低いことを知って、自分自身もかかりつけ医に受診していたため、あまり健診を受けたことがなかった。市民意見募集手続も意見の数が少なく、関心度が非常に低いと感じた。計画が策定されたら、どのようにして実現していくかが大事なポイントだと思う。

(委員) これまでに計画の作成に関わったこともあったが、完成してもあまり見ていなかったため、よく見ていければと思う。

(委員) このような計画があることを初めて知り、読み込むことから始めた。県外出身で、縁あって上田市に住むことになったが、上田市で家族を作って子育てをしたいと思ったし、子供たちが県外や市外に出てもまた戻ってきたいと思えるまちになってほしい。保育園などで栄養士や保健師による出張講座や相談日を設けてほしい。野菜ノートも活用しているが、野菜だけでなく肉等も含めた、子供が食べやすい料理のレシピがあると良い。

(委員) このような形で計画が策定されていることを初めて知った。市の広報の特集は、このような計画を基に作られているのだと、繋がりがわかった。野菜ノートは、とても分かりやすい。親になって、子供ができた時から食生活を改めて見直す人が多いと聞くので、その機会を狙って情報提供をするとよいと思う。

(委員) 案をどのように具現化するかが課題だと思う。若い頃からの健康や食に関する啓発が重要で、学校等の教育機関との連携も大事だと思う。関係機関との横断的な取り組みも大事で、様々な団体の方からの意見は、自分にはない視点があって参考になった。計画の具現化に向けて取り組みを進めていければと思う。

(委員) 上田市内に多くの大学生が生活しており、彼らも毎日食や健康、病気等と向き合いながら生活している。学生たちの健康に関する意識も高くしていかなければと危機感を持っている。学生中心に上田市の健康づくりに協力できるような取組をしていく必要があると思った。

(委員) 様々な専門分野の方たちが集まって協議していることを知ることができた。計画をたくさん周知していただければと思う。

(副会長) 周りの人の健康について考えたことがあまりなかったが、健康づくり計画を見て自分なりに分かったことを周りの人に広めていければと思った。

(会長) 健康づくり計画と食育推進計画は、これから実践していくことが重要だと思う。計画が計画案だけでなく、実際に反映されるように尽力していただきたい。

## 5. その他（事務局）

### ・答申の日程

日時：令和6年1月25日（木）午後1時

場所：上田市役所本庁舎4階第一応接室

出席：会長・副会長

## 6. 閉会（事務局）